

# 平成30年度の下水道の決算状況



下水道事業は、地方財政法で公営企業に位置付けされ、独立採算制を基本としていることから、「一般会計」とは区別し、本市では「特別会計」により運営をしています。

これは、下水道事業での歳入（使用料等）と歳出（下水道の建設費、維持管理費、資本費（元利償還金））を明確にし、経営状況を明らかにするためです。

この度、下水道事業の平成30年度の決算状況が確定しましたのでお知らせいたします。

平成31年4月に公営企業会計に移行したことから、なお一層の経費削減に加え経営の健全化に努めてまいりたいと思います。

なお、平成31年3月31日現在の普及状況は、次のとおりです。

- \*下水道が使用可能な人口（外国人含む） 52,041人…①
- 総人口（行政人口）に対する普及率 64.8%
- \*下水道を使用いただいている人口（外国人含む） 45,925人…②
- 下水道が使用可能な人口に対する接続率（②/①） 88.2%

## 【決算額】

平成31年4月から地方公営企業法を適用し公営企業会計へ移行したため、平成31年3月末で打切り決算を行いました（H30.4.1～H31.3.31までの歳入・歳出）。

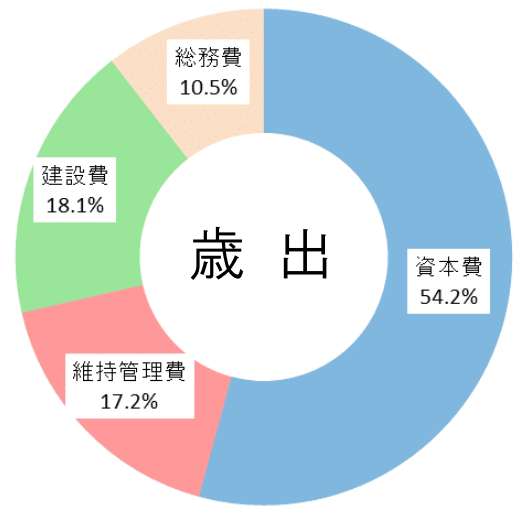
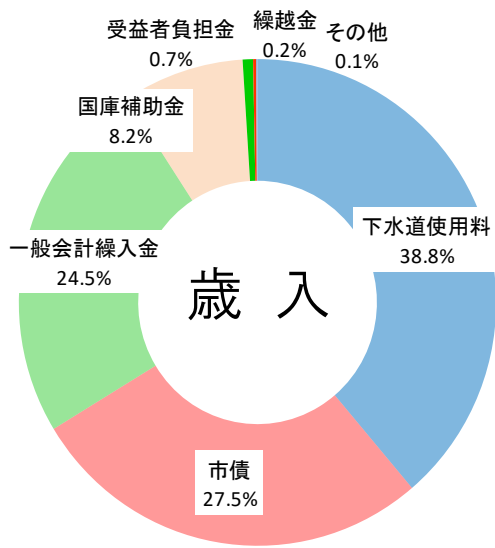
歳 入						単位：千円
受益者負担金等	下水道使用料 (一般+八幡原工業団地)	国庫補助金 (交付金)	市債 ※1	一般会計繰入金	その他	繰越金
18,413	1,049,739	222,012	744,700	663,878	239	5,898
対前年度比 △42.8%	対前年度比 △10.3%	対前年度比 192.2%	対前年度比 22.5%	対前年度比 28.7%	対前年度比 83.8%	対前年度比 △62.8%
<b>歳入計 2,704,879 千円</b>						対前年度比 11.8%

※1 「市債」…建設費や借入金の元利償還に充てるための借入金です。

歳 出				単位：千円
総務費	施設維持管理費	建設費	資本費（元利償還金）※2	
250,370	408,144	432,337	1,292,429	
対前年度比 39.8%	対前年度比 △6.7%	対前年度比 58.8%	対前年度比 △15.2%	
<b>歳出計 2,383,280 千円</b>				対前年度比 △1.2%

※2 「資本費」…借入金（市債）の元利償還金です。

歳入の「下水道使用料」、歳出の「資本費」が減少しているのは、3月末で打切り決算を行ったため、3月分の未収入金や未払い金等によるものです。歳入の「国庫補助金（交付金）」・「市債」・「一般会計繰入金」及び歳出の「建設費」が増加しているのは、米沢浄水管理センター及び上新田中継ポンプ場の改築更新工事費の増によるものです。



## ※参考

### 【支出負担行為額（例年の決算相当額）】

決算額に5月末までの歳入歳出（H31.3月分の収入・支払等）を含んだ額。

歳 入							単位：千円
受益者負担金等	下水道使用料 (一般+八幡原工業団地)	国庫補助金 (交付金)	市債 ※1	一般会計繰入金	その他	繰越金	
18,413	1,176,468	222,012	744,700	663,878	239	5,898	
対前年度比 △42.8%	対前年度比 0.5%	対前年度比 192.2%	対前年度比 22.5%	対前年度比 28.7%	対前年度比 83.8%	対前年度比 △62.8%	
<b>歳入計 2,831,608 千円</b>							対前年度比 17.1%

※1 「市債」…建設費や借入金の元利償還に充てるための借入金です。

歳 出				単位：千円
総務費	施設維持管理費	建設費	資本費（元利償還金）※2	
252,871	460,939	606,663	1,494,808	
対前年度比 41.2%	対前年度比 5.3%	対前年度比 122.8%	対前年度比 △1.9%	
<b>歳出計 2,815,281 千円</b>				対前年度比 16.7%

※2 「資本費」…借入金（市債）の元利償還金です。

